

令和3年度 シラバス

教科	芸術	科目	書道 I	学年	第1学年	学 科 類 科 型	普通科・商業科
単位数	2単位	教科書	新編 書道 I (教育出版)				
副教材							

学習目標	書道 I の学習においては、文字はどのような過程を経て形作られたのか、文字の美しさとは何かを考え、表現することを学びます。中学校の書写とは大きく異なり、幅広い文字の美しさを学びます。そのために古典（臨書）を中心とした学習は欠かせません。日本や中国の様々な時代の書を学ぶことで、書を見る力を養います。最初は知識や技術がなくても構いません。学習を積み重ねていくことで、見る力・考える力・表現する力を伸ばしていきます。
------	--

キャリア教育の視点	日常生活の中で、私たちは様々な文字に触れています。文字を見て、美しいと感じるのはなぜでしょうか？無機質な活字とは違い、手書き文字には感情が表れます。現在、日本は、「日本書道並びに仮名書道のユネスコの無形文化遺産」への登録に向け動いています。文字に対する美的感覚を持つことは、日本文化を知ることにもつながります。自国の文化を知り書を生活の中に取り入れることで、豊かな感性が生まれます。
-----------	---

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	オリエンテーション	書道で使う道具について理解を深め基本的な筆遣いについて学習します。 漢字の書体の変遷を学習した上で、唐時代を中心に鑑賞学習及び臨書を行います。 自分の名前の印を作成します。篆書体を用いて、篆刻の基本を学びます。 行書の基本用筆を学び、中国の書と日本の書に関連させて学習します。	書道展への出品 各古典学習後、清書を実施 ノート提出
	5月	漢字の書の学習（楷書）		
	6月	漢字の書の学習（楷書）		
	7月	篆刻の学習 漢字の書の学習（行書）		
2 学 期	8月	漢字の書の学習（行書）	行書の古典作品を通して、中国の書と日本の書に関連させて学習します。 これまで学習した古典の中から選択し、半切形式で作品を制作します。 日本独自の仮名文字が作られた経緯を理解し仮名の基本用筆を学びます。	各古典学習後、清書を実施 書道展への出品 ノート提出
	9月			
	10月	漢字の書の学習（半切）		
	11月	〃 仮名の学習		
3 学 期	1月	〃	現代の言葉を素材として、古典の味わいを生かしながら創作作品を制作します。	各古典学習後、清書を実施 ノート提出
	2月	漢字仮名交じりの書の学習		
	3月	まとめ		

学習の方法	授業中の活動が中心となりますので、個人での活動も集団での活動も、積極的に取り組んでください。実技においては特に古典臨書が中心となります。文字を分析しながら、それぞれの古典の特徴や書の美しさを感じ取り、表現します。その中で歴史的背景や人物像なども学習します。作品完成後には、相互評価や自己評価など学習の振り返りを行います。
-------	--

評価の仕方	定期考査は行いません。授業内で行う清書作品・提出課題・学期末に提出するノート提出、長期休業中の課題、活動への取り組み方、出席状況で評価します。
備 考	材料費として、2,000円徴収します。大筆、小筆、固形墨については個人で用意してください。（筆については、学校での予約販売も行っています。）

